

## 浜竹一・二丁目で防災都市づくり ワークショップを開催

災害に強い都市づくりを進めていく上で重要なことは、市民と行政などが、それぞれの役割を担い、継続的に取り組みを進めていくことです。

今回は、浜竹一・二丁目をモデル地区とし、市民と行政がともに学習しながら災害に強い都市づくりに向けた取り組みを考えていきます。

当日は、松浪中学校の生徒さんを含め、18 名程度の方にご参加いただくとともに、東京大学の加藤孝明先生にご指導をいただきながら、第 1 回のワークショップが行われました。

### ワークショップのテーマは「身体的」視点

近年、首都圏は大地震が発生しておらず、実体験として大地震を経験していない方が多いと思います。したがって、防災についての議論は、感覚的な視点になりがちです。今回のワークショップでは、「身体的」視点でとらえていくことをテーマとしています。テーマにそって、4 つの試みをワークショップに取り入れ、防災都市づくり活動にどのように取り組むか議論していきます。

### 4 つの試み

- ①体験学習 : 実物のブロック塀の倒れ方、火災の熱などを体験
- ②延焼シミュレーション : 火災の燃え広がり方を点検
- ③地域点検 : 防災都市づくりの視点からまちを点検
- ④ワークショップ : 模型を使いながらまちの課題等を議論

▼ 浜竹一・二丁目の模型



▲ ワークショップの様子

## ワークショップの内容

### ガイダンス

日時：11 月 22 日 [日] 10:00-12:00

場所：松浪自治会館

★ワークショップの概要説明

★基調講演：「防災まちづくりについて考える」

# 1

### 道路閉塞・火災を人の視点から考える

日時：12 月 13 日 [日] 9:00-12:00

場所：茅ヶ崎市役所

★体験学習

★ワークショップ

★延焼シミュレーション

# 2

### 道路閉塞・火災をまちの視点から考える

日時：1 月 24 日 [日] 9:00-12:00

場所：松浪自治会館

★地域点検

★ワークショップ

宿題：「地域の防災資源や危険ポイント」を探る

# 3

### 個人・地域でできる防災都市づくりとは

日時：2 月 28 日 [日] 10:00-12:00

場所：松浪自治会館

★宿題の発表

★ワークショップ

# 4

### シンポジウム

日時：3 月 20 日 [土] 10:00-12:00

場所：小和田公民館 (予定)

★開催報告 (報告者：地域住民代表)

★パネルディスカッション

「個人・地域でできる防災都市づくり活動」(予定)

# 5

# 防災都市づくりを進めていく上での5つのキーワード

第1回では、東京大学の加藤先生より「防災まちづくりについて考える」をテーマにご講演をいただきました。講演では、阪神淡路大震災の現場映像、「自助」「共助」「公助」のあるべき姿、防災都市づくりを進めるための視点などお話がありました。



▲ 加藤先生の講演の様子

## 1 防災都市づくりを進めていく意味を考える

### ● 防災まちづくりの意味は以下の2点

- ◇ まちづくりを進めながら地域の防災性を高める
- ◇ 防災をきっかけにして、まちづくりをはじめ

### ● 茅ヶ崎市は震災の影響を受けやすい地域

- ⇒ まちの危険性が高いということは、まちづくりのきっかけになるという見方も・・・

## 2 防災の基本は「自助」「共助」「公助」なの？

### ● 「自助」「共助」「公助」とは？

- ◇ 「自助」は個人でやるべきことは個人でやる
- ◇ 「共助」はまちの皆の助けでやる、まちの責任でやるべきことをやる
- ◇ 「公助」は行政が行うことは行政がきちんと行う

### ● 「自助」「共助」「公助」がそろって防災は進む？

- ⇒ 「公助の言い訳」「共助の自己満足」「自助の無策」に代表されるように非常に低い状態で安定し、それぞれが頑張りきれていないことが社会問題

## 3 想定される被災状況・危険性を正しく理解

### ● 自分の問題として考えよう！

防災まちづくりを進める上では、自分の問題として意識する必要があります。そのためには、地域で想定される災害を正しく理解することが大事

## 4 被害事例と被害想定をふまえて被害を想像する力が大切

### ● 条件が変われば被害状況も違うものに・・・

阪神淡路大震災の被害状況は14年前の都市空間、人、気象条件で現れた状況。首都圏では火災の被害が阪神淡路大震災以上になるとも・・・

### ● 住んでいるまちの被害状況を想像することが重要

茅ヶ崎市には神戸市になかった都市空間の条件があるかもしれません。そういったものもふまえて被害の状況を想像する力が必要

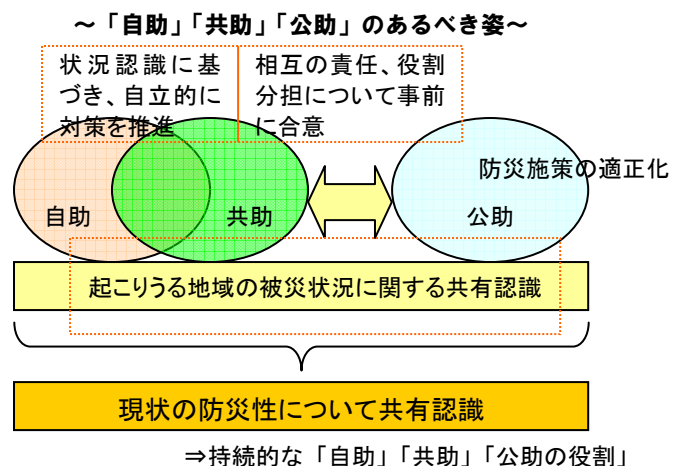
## 5 「自助」「共助」「公助」による持続的な取り組みを

### ● 防災都市づくりを持続的に進める仕組みづくりを！

「自助」「公助」「共助」にはそれぞれ得意、不得意分野が。それぞれの役割分担を考え、持続的に進めていくための仕組みを考えては・・・。

### ● キーワードは他世代への展開

今日は中学生が来ています。今まで頑張ってきた経験を踏まえ、他世代へ、より発展させていただければと思います。



発行：茅ヶ崎市 都市部 都市政策課  
発行日：平成21年12月  
TEL 0467-82-1111（内線：2504）  
FAX 0467-57-8377